## 会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会	議名		平成27年度第1回魅力ある屋島再生協議会
開	催	日 時	平成27年6月10日(水) 10時00分~11時10分
開	催	場所	高松市役所 13階大会議室
議		題	(1) 役員の選出について (2) 平成26年度事業報告及び収支決算について (3) 今後の協議会の運営のあり方について ・平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ・特別部会(協議会運営検討部会)の設置について (4) その他 ・古代山城屋嶋城(やしまのき)城門遺構整備について
公	開の	区分	■ 公開 □ 一部公開 □ 非公開
上	記	理 由	
出	席	委 員	佃委員(会長)、岩佐委員(副会長)、池本委員(代理:馬門委員)、岡委員、小川委員、佐々木委員、佐藤委員(代理:向井委員)、佐野委員、塩野谷委員、城下委員、十川委員、高橋委員、長谷川委員、増田委員、新福委員、三谷委員、宮武委員、森委員
傍	聴	者	0人
担当課および連絡先			政策課 839-2135

## 審議経過及び審議結果

議事に先立ち、今年度新たに就任した委員の紹介を行った。

次の議題について協議し、下記の結果となった。

# 議事(1) 役員の選出について

・魅力ある屋島再生協議会会則第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により会長を選出した。また、魅力ある屋島再生協議会会則第5条第3項の規定に基づき、会長の指名により副会長および監事を選出した。

会長 佃 昌道

副会長 岩佐 武彦

監事 佐々木 正隆

監事 佐野 正

# 議事(2) 平成26年度事業報告及び収支決算について

・平成26年度事業報告及び収支決算について、事務局から報告し、収支決算の監査 結果について、監事から報告した。委員からの質疑・意見等なく、報告のとおり承認 された。

#### 審議経過及び審議結果

## 議事(3) 今後の協議会運営のあり方について

- ・平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、事務局から説明し、委員からの質疑・意見等なく、報告のとおり承認された。
- ・特別部会(協議会運営検討部会)の設置について、佃会長が提案し、承認された。あわせて、特別部会の設置に関係する協議会会則の関係部分を変更した。

# 【特別部会の設置に関する主な質疑・意見等】 ※参考資料 1 · 2 参照 (会長)

- ・本協議会は、当初の計画として、平成 25 年度の設立から3年を目途に、市民、事業者、市民活動団体が主体となる推進組織への移行を目指すとなっており、本年度が3年目に当たる。
- ・屋島活性化基本構想に掲げる活性化の取り組みの進行管理は、本協議会の目的であるが、それらの取り組みはほぼ着手されており、当初の本協議会の設立目的はある程度達成されている。
- ・そのため、本協議会のさらなる発展のために、これまでの協議会の運営における成果、課題 点を整理し、本協議会の目的や来年度以降の新たな組織の運営体制の検討・調査を行うための 特別部会を設けたいと考えている。
- ・大勢では議論しにくいので、数名で組織する特別部会を設置し協議する中で、本協議会や部 会委員、関係機関等からの意見も聞きながら、今後の協議会のあり方を考えていきたい。
- ・28年度には、新しい組織体制を構築し、後世に屋島の自然等を残しながら、魅力ある屋島を引き出せるようにしていきたい。

## (委員)

・各部会で、それぞれ協議されている文化財保存・活用と観光振興をどのように連携し推進していくかを図る意味でも、各部会のあり方を含めた機動性のある組織体制を検討することは重要である。

#### (委員)

- ・これまでの協議会運営で、他の団体と委員・協議内容等が重複する部分もあるので、組織体制の整理等は必要である。
- ・屋島の新しい観光のあり方について、関係者で協議できる体制を考えてほしい。
- ・環境、景観に配慮しながら、受入体制をどう整えるかなどのさまざまな課題、提案を特別部 会の中で協議してほしい。

#### (委員)

・国立公園の目的である自然保護思想の普及啓発を図るためにも、国立公園である屋島の自然 の上手な活用を検討してほしい。

#### 審議経過及び審議結果

#### (委員)

- ・屋島を後世にどう残していくかといった視点を踏まえた検討が必要である。
- ・現在の本協議会の体制では、人数が多く議論が難しい面もあるので、当事者で特別部会を設置し、真剣な議論を重ねることは重要である。

## (委員)

・屋島を世界に認めてもらえるようなさぬきジオパークという構想がある。世界に認められれば地元の人間の意識も変わるので、新しい協議会では、これらの構想を牽引できるような組織になってほしい。

### (委員)

- ・本協議会は、今の状態であれば地元の人間にとっては身近ではない、別次元の議論がなされている。
- ・関係者が本音の部分で協議できる特別部会を新しく設置することは、重要である。

#### (委員)

- ・屋島を代表する香川ののどかな風景は、特別である。
- ・屋島と市民の接触する機会を増やすような取り組みが必要である。
- ・源平合戦に関連するイベントを年1回開催するなど、屋島の歴史を思い出させる取り組みが必要である。

# 議事(4) その他 ※参考資料3 参照

・古代山城 屋嶋城 (やしまのき) 城門遺構整備について、AR (拡張現実)等の技術を活用 した城門遺構復元 (CG) 作成事業の概要等を事務局から説明した。

一以上で審議終了一